

(別添3)

戸田市 校務DX計画

1. 1人1台端末(指導者用)の整備

令和5年9月の校務用PC端末の更新により1人1台端末(指導者用)の整備を完了しています。

2. ネットワーク環境

戸田市では、令和5年9月にゼロトラストに基づくセキュリティ対策を導入し、校務系・学習系のネットワークを一元化しました。令和6年9月には校務支援システムをクラウド化し、ロケーションフリーな教育環境を構築しました。

・文部科学省が示す学校規模ごとの1校あたりの帯域の目安(当面の推奨帯域)の値を参考に、令和7年9月までにネットワークアセスメント等から課題を特定し、順次改善策の検討を開始します。

3. 校務のデジタル化

戸田市では、校務支援システム内のグループウェア機能により、学校-学校間、市教育委員会-学校間の文書連絡・資料送付に活用しています。また、教職員1人1人に業務用のメールアドレスを付与しており、外部との連絡に活用しています。さらに、保護者連絡アプリを導入しており、保護者への連絡についても教職員の負担軽減やコミュニケーションの迅速化ができる環境を構築しています。

そして、緊急連絡や教育ネットワークの不具合時、FAXのほうが電子メール等より効率的な場合など一部を除き、FAX及び押印の原則廃止に向けて、検討を行います。

4. ペーパーレス化

会議等において、サーバ等に保存した電子データを閲覧したり、校務支援システムのグループウェア機能でマニュアル等を学校間で共有したりしてきました。

児童生徒1人1台端末導入後は、保護者連絡アプリによる教員から保護者への連絡のデジタル化、児童生徒への各種連絡のデジタル化、職員間の情報共有のデジタル化や研修資料のアーカイブ化により、ペーパーレス化を推進してきました。

今後も、会議資料のペーパーレス化を一層推進するとともに、電子決裁システムの導入について研究します。